



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年2月26日発行 第12号

新しい自分づくりへの頑張りに拍手!

岩内東小学校長 齊藤 信之

「2月は逃げる」の言葉の通り、あっという間に2月が終わろうとしています。

「数年に一度の猛吹雪」との嚴重な警戒を呼び掛ける予報のもと、登校から下校までを総合的に判断して16日は臨時休校としました。雪が伴わなかったおかげで猛吹雪とはならず済みましたが、強風に掲揚塔の国旗がちぎれるのを目の当たりにし、子どもたちの安全を守るためには必要な措置だったと感じたところです。保護者の皆様には、急なことでご苦勞やご迷惑をおかけしたことと思います。ご理解とご協力をいただきましたことに感謝いたします。

4月に入学してくる子たちが、元気いっぱい「一日入学」へとやって来ました。驚いたのは、話の聞き方です。人の話に集中して耳を傾ける姿には、とても感心しました。4つの教室に分かれての1・2年生との交流も、積極的に楽しんでくれました。真新しいランドセルを背負い、春風に押されて登校してくる日が待ち遠しい限りです。

毎年、「一日入学」の度に思うことがあります。それは、1年生や2年生の子たちの成長ぶりです。昨日と今日の違いには気付きにくくても、1年前、2年前との違いは明らかです。新1年生の子たちに教えてあげたり、手伝ってあげたりするその姿は、自信にあふれていました。入学当初には、些細なことにもすぐに涙を見せていた子も、今では様々なことを受け止められるようになり、笑顔で積極的に活動しています。今年もまた、たくましさや自信を身に付けた一人一人の確かな成長を感じることができました。

全ての子は、「できるようにになりたい」「わかるようにになりたい」と強く思っています。新しいことができるようになったとき、子どもは、自分が新しくなったと感じます。これが成長することです。成長の仕方は子どもによってまちまちですが、どの子にも共通して言えることは、新しい自分に出会うためには、自分の足で歩み続けるしかないということです。平坦な道ばかりではないかもしれません。思い悩むことが多くて、歩くことをやめたくなることもあるかもしれません。家族や先生などの周囲の大人や友だちに励まされ、支えられ、時には一緒に歩いてもらったりしながらも、自分で歩いてきたからこそ、以前とは違う今の自分があるのです。昨日より今日、今日より明日と、自分で自分をつくり続けてきた子どもたちの頑張りに大きな拍手を贈りたいと思います。

「6年生を送る会」への準備でしょうか。低学年の教室から温かな贈る言葉が聞こえ始めました。感染症予防のため全学年が集うことを控え、6年生が待つ体育館へ一学年ずつ出向いては思いを伝える形で進行します。他の学年との交流がほとんどないままに経過してきた本年度ではありますが、全校の中心となって活躍してきた6年生の姿を伝え、「ありがとう」と「おめでとう」の気持ちをしっかりと伝える優しい時間を全校みんなで作り上げたいと思います。